

令和 8 年 6 月 定例会 一般質問 要約版

質問者 河野禎明 議員

【新中学校建設計画について】

質問 1

議員：今の状況は本当に困っています。石油が来るか来ないか。建築資材が本当に来るのか、建築しようとしてもちゃんと予定通りできるのか全く誰にもわかりません。この前登り口に鶏糞発電所の 2 号機を九州電力が作りしました。総工費 100 億円です。学校は何もないところから全部作るわけです。考えただけでも大変な費用がかかります。町有林にスギヒノキがいっぱいあります。この木材を利用し校舎建設、体育館建設考えられないか。

町長：木材の利用と言うのは、子供たちにとっては温かみであり非常に重要なものだと思います。今後、建設、設計等の業者にしっかり伝えたいと思います。

質問 2

議員：日本の歴史的建造物は木材なんです。鉄筋が丈夫と言うことではないんです。今建築費がいくらになるかわからない状況です。中学校だけ建てたら小学校は作れなくなるのではないかな。

町長：大切な財政、これはしっかりと設計、見積もり等が出てきた時点で判断します。

質問 3

議員：3 月識会で中学校の委託が出ました。コンストラクションマネジメントと言う。どんな中学校を作るのかと言うそのことを委託する、今私たち実際町内に教育関係者いろいろ詳しい人がいます。この情勢ですよ。今とてもじゃないが、物を建ってますとか言える状況じゃないです。ここは地元の教育関係建築に詳しい人を集めて中学校どうしたらいいのかどういう風に建てたらいいのか人に頼む所じゃないんですよ。この前 2 億 800 万円委託料あげたんですよ。人に頼むところじゃないんですよ。自分たちで今考えないといけないんですよ。本当に人任せじゃダメではないか。

町長：なぜコンストラクションマネジメントと言う組織を入れるのかと言うのは、専門的な知識を持って正確に物事を進めていくと言う。私たちでは、計り知れない専門的な知識を生かした形でコストの削減であったり、施工期間のそん守であったり、そういった形の専門的な知識をいただくと言うまさしく地域の事業者は、今後施行と言う形の中で参加してくることになると思います。そういった最初の貴重な第一歩目をそういった専門知識のある方々に委ねたいという形で考えています。

質問 4

議員：今の少子化なんですけど、10年後の生徒数を考えてみると、小中学校合わせて約600名位じゃないかと思います。10年後に中学生はもう256名と表が出ていますけど、中学生は20名位は町外に行く可能性があります。小学生はコロナが始まってから出生が町内は1年間に大体60名なんです。その子たちが小学校どんどん上がっていくわけです。10年後に600名いないかもしれないんです。中学校だけ建てるのは大問題じゃないか。小学校のことも考えるべきだ。

町長：国光原中学校の子供たちが1クラスで学んでいく。多様な教育環境の中で多様な学びを言う中では非常に厳しい状況じゃないかと思っています。まず、今日の前にある中学校、新中学校、そして合わせて小学校の子供を含めて教育委員会もしっかりと議論検討を始めていると言うことを伺っております。そういった中で新中学校建設というのは令和13年4月開校これを目指して、しっかりと進めて参ります。

【文化ホールについて】

質問 1

議員：文化ホールが使えないことで、町民が本当に困っています。文化ホールは、建設当初から雨漏りが発生していました。今までの修理代の合計は計算すると10億越すかも分かりません。大変なことだと思う。この文化ホールの現状と今後の見通しについて伺いたい。

教育長：文化ホールは昨年度に実施した文化ホール、客室天井耐震診断業務委託において、耐震性がない天井脱落の可能性があるなどの結果を受けて、天井の高さが6メー

ター超えている舞台及びホール部分について使用を禁止しています。その他の会議室や楽屋等の施設につきましては、現在も使用している状況です。今後の見通しですが、図書館部分も含めた川南町文化ホール、図書館複合施設全体の耐力度調査を実施予定しております。その調査結果を受けて検討していく予定です。

質問 2

議員：25 年以上も雨漏りがしていたら、コンクリートに雨が染み込んでいく。その中に鉄骨がある。鉄骨は水を含む徐々に錆びてくる。今度ホールだけ修理をしたとしても、もう数十億かかる修理の可能性もありますし、その修理をしたからといって、図書館の雨漏りが治るかと言う保証もない、このまま修理修理でやったらもうとんでもない金額、今修理代も高くなってるから解体して新しくする事は考えてないか。

教育長：複合施設全体の耐力度調査を実施した上で、その結果をもとに今後どうするかと言うことについては検討します。